

平成24年度 第2回 東京都健康長寿医療センター研究部門倫理委員会 会議概要

開催日時 平成24年8月30日(木)午後2時～6時50分

開催場所 研究所4階大会議室

出席委員 新開委員長、高橋副委員長、河津委員、服部委員、山口委員、小林委員、高橋委員  
田中委員、河本委員 (出席委員9名/定数10名)

受付 番号	新規 ・迅速	申請者	研究課題名	判定	条件・勧告又は不承認の理由等
25	迅速	安永 正史	高齢者ボランティアと小6児童の異世代間コミュニケーションの成立と変化	承認	
26	迅速	西 真理子	行政と住民ネットワークの連携による孤立予防戦略の検証	承認	
27	迅速	田中 雅嗣	陸上競技選手のゲノム全領域関連解析	承認	
28	迅速	重本 和宏	神経筋疾患の病態と診断法及び治療法の開発	承認	
29	迅速	高橋 龍太郎	健康長寿に対する心理学・医学要因の影響の検討	承認	
30	迅速	高橋 龍太郎	健康長寿調査における100歳コホート追跡調査に関する研究	承認	
31	迅速	安永 正史	高齢者ボランティアと小6児童の異世代間コミュニケーションの成立と変化	承認	
32	迅速	藤原 佳典	行政と住民ネットワークの連携による孤立予防戦略の検証	承認	
33	迅速	青柳 幸利	高齢者における「ラクトフェリン」の有効性	承認	
34	迅速	村山 洋史	地域高齢者の生活機能の加齢変化とそれに修飾する要因の解明(鳩山スタディ)	承認	
35	迅速	大淵 修一	高齢期の健康と生活機能維持のための新たな健診	承認	
36	新規	村山 繁雄	高齢者ブレインバンクリソースを用いた教育事業(同志社大学脳科学研究科大学院実習講義)	承認	承諾書の中に、試料は教育の目的でも使用することがあり得る旨、明記することを検討されたい。
37	新規	村山 繁雄	室傍核外側perineuronal netsに囲まれた新規ニューロンクラスターの解析	承認	共同研究先にて倫理審査は必要ないという判断に至った理由について文章での回答を求める。
38	新規	村山 繁雄	神経変性疾患の分子機構と治療に関する研究	承認	
39	新規	村山 繁雄	グリア性炎症に着目した筋委縮性側索硬化症の脊髄索変性に関する病理学的解析	承認	共同研究先の承認通知(写)を提出すること。
40	新規	村山 繁雄	タウオパチーにおけるタウ高リン酸化機構の解析	承認	共同研究先の倫理審査申請書(写)、承認通知(写)を提出すること。
41	新規	栗田 圭一	認知症疾患医療センターの活動状況調査	承認	
42	新規	小島 基永	個人と地域特性の評価を指標として進める高齢者の力を生かす地域づくり	承認	説明文に3年間の研究計画であることを明記すること。調査に関する問い合わせ先は研究所のみでなく、自治体側にも設置すること。

受付番号	新規・迅速	申請者	研究課題名	判定	条件・勧告又は不承認の理由等
43	新規	石崎 達郎	手術を受ける高齢者の虚弱性と短期および長期予後との関連に関する研究	条件付承認1	共同研究先の倫理審査申請書(写)、承認通知(写)を提出すること。 研究計画の全体像が把握できる説明文を提出すること。 研究全体に係る包括的同意が得られるような同意書を提出し、かつ同意書には、説明者の氏名を併記すること。 また、同意書のタイトルは研究内容が分かるような明確なものにすること。 以上の点について、再度提出し委員長の確認を受けた上で、実施すること。
44	新規	青柳 幸利	乳幼児から高齢者までの体温の標準値とその加齢変化に関する研究	条件付承認1	説明文には、共同研究先から支援を受けている旨を記載すること。また、調査は四半期毎に実施されることを追記すること。 研究参加同意書には、研究責任者及び自治体側の連絡先を明記すること。 体温測定等の調査に用いる記録用紙、アンケート用紙等を提出すること。 以上の点について、再度提出し委員長の確認を受けた上で、実施すること。 また、行政側に過度の負担がかからぬよう、研究所で対象者に対する説明と同意の責務をきちんと果たすこと。
45	新規	大淵 修一	都市高齢者の孤立予防に関する長期縦断研究	変更の勧告	ベースライン(初年度)の研究のみ承認とするが、2年目以降の研究についてはプロトコルを練り直し、再度申請されたい。
46	新規	大淵 修一	高齢者に対するサーキットトレーニングの日常活動量への効果	承認	説明文にどういった共同研究体制で実施するのかを明記し、参加同意書に共同研究先の名前を入れることの整合性をとること。
47	新規	高橋 龍太郎	総合的口腔機能向上プログラムによる認知機能低下抑制効果に関する研究	承認	申請書に資金元を明記し再提出すること。
48	新規	吉田 英世	高齢者におけるエネルギーおよびたんぱく質の必要量の推定	条件付承認1	研究対象者の男女比を記載すること。 対象者に対する説明文と同意書を提出すること。また、説明文は高齢者に配慮した分かりやすい文章にすること。 以上の点について、再度提出し委員長の確認を受けた上で、実施すること。
49	新規	石井 賢二	糖尿病性認知症の病態に関する研究	承認	申請書にある誤字を修正し再提出すること。 糖尿病例認知症⇒糖尿病性認知症 危惧⇒器具 共同研究先の承認通知(写)を提出すること。
50	新規	豊田 雅士	歯髄幹細胞からのiPS細胞作製と、iPS細胞からの象牙芽細胞への分化誘導	承認	申請書の誤り(研究期間を平成27年3月31日まで)を修正し再提出すること。
51	新規	沼賀 二郎	埼玉県鳩山町における加齢黄斑変性症の有病率、栄養疫学調査、及びゲノム多型解析	条件付承認1	研究対象者に対する説明文と同意書を提出すること。 以上の点について、再度提出し委員長の確認を受けた上で、実施すること。
52	新規	堀田 晴美	内因性鎮痛における脳μ-オピオイド系の役割の検討	承認	説明文の誤り(9ページのコメントを削除)を修正し、再提出すること。 研究参加者募集文に被験者の条件についてより具体的に明記するとともに、説明文には途中中止の権利も記述すること。
53	新規	菊地 和則	被災地における在宅医療・ケアの適切な利用に関する研究	承認	申請書の誤り(研究対象となる全市町村数の数)を修正し、再提出すること。
54	新規	菊地 和則	東京都内の通所系事業所・有料老人ホームの地域貢献(防災対策)に関する研究	承認	
55	新規	杉山 美香	横浜市における住民のリーダー育成による介護予防介入研究	承認	申請書13ページ(資料I.9ページ)の個人情報の取扱いについて十分に留意されたい。
56	新規	島田 千穂	高齢者による医療の選択と意思決定を支える体制の構築	承認	研究参加同意書に研究責任者名及び連絡先を明記すること。 申請書の研究目的について更に明確に記載し、再提出すること。
57	新規	野中 久美子	住民による「見守りチェックシート」の開発	承認	事業名を統一すること。 依頼文の宛名は「民生委員の皆様」とすること。
58	迅速	村山 繁雄	脳老化に伴う神経原線維変化形成機序に関する蛋白化学的研究	承認	
59	迅速	小林 江里香	全国高齢者の健康と生活に関する追跡調査	承認	